

## 合格体験記 (平成29年度版)

### [国公立大学] 三重・生物資源学部・共生環境学科

大学は夏休みに決めました。志望理由は、よりよい環境で勉強したという気持ちです。

受験勉強を始めるまでは、テスト勉強本気、スキマ時間の勉強のみ。

4月の模試の結果で、担任から国公立どうだ？と言われたのがきっかけで、受験を意識し始めました。

5月末の引退まで部活を続け、6月から勉強を計画通りやるのはムリなタイプなので、毎日これ以上できなかったと思えるくらいの勉強を続けました。

日々の勉強は、自分で勉強できない科目は、講座で勉強しました。先生に教えていただいた通りに勉強をしていくと、ある時からいっきに成績が上がり出しました。また、疑問に思うことがある度に、自分から先生に質問に行きました。何度も同じようなことを質問にくる僕に対し、嫌な顔を一つもせず、理論から丁寧教えてくださいました先生方に会えてよかったです。

授業中は、先生が雑談で学問と日常の関係のある話をする時、特に集中しました。それから身の周りの現象を考えるようになり、机に座ってない時も、勉強になりました。勉強すればするほど現象がわかるようになり、楽しく勉強できました。

一般入試対策として、理系は暗記したら終わりだと言いつけて、本質理解に重点を置きました。

実行してよかったことは、

- ①傾斜配点に合わせて勉強したこと。とるところでとれば、苦手があっても戦えるという理論。
- ②試験は誰でも不安になります。対策として何でもいから自信をもてることをやっておくこと。僕は本番で8割自信、2割不安で、試験を楽しめました。
- ③本番中、わからない問題があったが試験官の顔を見て笑顔をつくったこと。それくらいの余裕を持って解けたことが合格につながったと思います。
- ④推薦入試を1つも受けなかったこと。チャレンジでしたが、最後の最後までモチベーションを維持できました。

最後に、合格するために全てをかけてがんばってください。

### [国公立大学] 愛知県立大学・情報科学部・情報科学科

私が最終的に受験する大学を決めたのは3年生の8月頃です。もともと、情報系の学部に進みたいと考えていて、1学期の懇談会の時、担任の先生からのアドバイスを受け、県立大学も挑戦することにしました。

大学受験をする為に、まずやるべきだと思うのは、大学をたくさん調べることです。各大学で何を学べるのかを調べ、立地条件や勉強以外にできる事などを知り、自分の目指す大学を決めることが重要だと思います。私は、大学を決めたことで、勉強のモチベーションが保てるようになりました。

私は、推薦での受験を意識していたので、学校の定期テストに力を入れ、夏休みは基礎力をつけることに重点

をおきました。2学期からは一般受験の場合も考えて、演習問題も解くようにしました。推薦入試では、志望理由書、面接や小論文も重要視されます。特に志望理由書は、何故その学校や学部を目指すのかを具体的に伝えることが必要となる為、何度も書き直しました。

受験で大切なことは、早目に目標を持つことだと思います。私も、オープンキャンパスに参加したことで実際に学校の雰囲気を感じ勉強以外に、趣味においてもやりたい事が見つかったので、大学を目指す意気込みが高くなりました。これから受験を受ける後輩の皆様も、自分に合った大学、目標をオープンキャンパス等で見つけれられるように頑張ってください！！

## **【私立大学】 藤田保健衛生大学・医療科学部・看護学科**

私は3年のはじめに看護学科に行くことを決めました。それまで特に目標もなく、だらだら授業を受けていたため、目標の大学を先生に伝えたら、かなりきびしいとの事でした。このままではだめだと思い、部活を3年6月に引退し、塾に通い、勉強漬けになりました。夏休みは1日10時間ほど、今までテストも一夜漬けで、家で全くと言っていいほど勉強をしてこなかった私にとって、かなりきつい事でした。それでも第一志望には落ちてしまいました。第一志望は国公立だったため、国社数理英全部それなりにできなければなりません。私の最初の模試は数39点、理47点、社29点、国英は200点満点中71点と80点でした。第一志望は7割ないときびしかったので、全体で約100点上げねばなりません。理社は知識があれば何とかできるので、基本を固めて、センターを意識した参考書で練習しました。数学も基礎を固めれば解けるようにはなりますが、私は時間が足りなくなるため、制限時間内に終わらせる練習をしました。国英は、長文問題が5～6点と配点が高いため、ここがとれないと困ります。ただ慣れるのに時間がかかるため、英語は単語を覚えていなくても（もちろん同時進行で覚えていかなければなりません）練習する必要があると思います。1日2題を1ヶ月やったら、急に点数が伸びてきます。私は最終的にセンターで7割とることができましたが、国公立は二次もあり、その対策を怠ったために第一志望に落ちてしまいました。国語の文章を書く練習を、もっと早くからやっておくべきだったと後悔しています。

富田は、正直受験生に優しい環境ではありません。早めに進学先が決定する子が多く、その中で勉強するのは苦しいですし、授業でセンターまでに全部終わらない科目は、自ら勉強していく必要があります。ただ、良い先生がたくさんいるので、早めにどう勉強するのか相談したりする事も大事だと思います。

みなさんが後悔しない大学に進むよう、心から応援しております。

## **【私立大学】 南山大学・経営学部・経営学科**

僕は夏休み前から南山大学に行きたいと思っていましたが、模試の結果が悪くて、愛知大学に志望校を変えました。夏休みは大事な時期なのに遊んでばかりいて、まったく危機感を持っていませんでした。ですが、周りの人たちが一生懸命勉強しているのを知って、僕もやらなきゃと思うようになりました。この時、正直もう手遅れだと思っていましたが、この大学受験が自分の人生を大きく左右すると思い、諦めずに勉強に取り組みました。

朝早くに学校へ行き、学校生活のほとんどの時間を勉強に費やしました。

推薦入試が間近に迫ってきて、みんなが焦り始める頃も、焦りすぎて勉強に集中できなくなってしまうと思い、自分のペースをしっかりと守り勉強しました。推薦入試の前の模試が返ってきて、愛知大学だけでなく、南山大学にも手が届きそうだったので、迷った末に南山大学を目指すことにしました。そう決めてからは勉強への熱が更に強くなり、推薦はもちろん、センター試験でもいい成績をとることができ、その勢いを保ったまま、愛知、南山大学の入試に挑み、なんとか合格することができました。

僕はギリギリで合格することができましたが、これから本格的に受験シーズンに入るみなさんが、少しでも余裕が持てるように、いくつかアドバイスをしたいと思います。

1つ目は、早くから受験勉強を始める事です。これはみんなよく聞くことだと思いますが、早くから始めれば始める程良いスタートが切れ、勉強のリズムが良くなります。2つ目は、自分のペースでやることです。僕みたいにスタートに出遅れた人は、周りがどれだけ勉強しているのか気になって、余計に焦ってしまいます。模試の結果も、みんな良くて自分だけ悪かったら、落ち込んでしまうので、周りがどんなに良くても、自分は自分のペースでやるという感覚であまり気にしないようにするのが良いと思います。3つ目は、諦めないことです。とにかくこれさえすれば、結果は必ずついてきます。この1年は長いようで、とてもあっという間に過ぎてしまうので、1日1日を大切に、合格できるように頑張ってください。

## **[私立大学] 名城大学・理工学部・情報工学科**

私は受験期になっても明確な目標がないまま勉強を続けていたので、なかなか勉強に対するモチベーションが上がらませんでした。そのため、推薦入試こそ辛うじて合格しましたが、センター試験で失敗してしまったので、第一志望校を諦めることになりました。まずは、できるだけ明確な目標をもつことが大事だと思います。

私が受けた推薦入試は、学力テストの他に小論文と面接もあるので、勉強だけでなく、その2つにも時間を割かなくてはなりません。小論文は数をこなして慣れるのが一番だと思うので、何度も書いて先生に指導をしてもらうのが良いと思います。面接はあまり練習をせずに本番に挑んだら、なかなかうまく伝えられず痛い目にあったので、ちゃんと対策をしていったほうが良いと思います。また、推薦入試は学校での成績も大事になってくるので、定期テストを疎かにしてはいけないと思います。毎日の授業を大事にして、少しの時間でいいので、復習をすることで知識が定着してくると思います。

入試が近づいてくると誰もが緊張や不安でストレスを感じると思います。そんなときは学校で友達と話したり、無理に勉強するのではなく気分転換をしたりすることが大事になってきます。受験なんてものは、受かるときは受かるし落ちるときは落ちます。だからあまり深刻にならないでください。苦しくて辛いのが受験ですが、受験を乗り越えた先も苦しいこと辛いことがたくさんあると思います。受験はその予行演習みたいなものです。早め早めに受験勉強を始めて万全の準備をして受験に挑んでください。そして、後悔のない選択をして、最後まで粘り強く頑張してほしいと思います。

## [私立大学] 愛知大学・経済学部・経済学科

僕が本格的に受験を意識したのは9月頃からです。それまでに一応勉強はしていて、割りと良い結果が出るかなと思って受けた8月の模試の結果が、E判定とD判定しかなく、このままではまずいと思いました。それから僕は良い勉強法や参考書を塾の先生に教えてもらったり、自分で調べたりして自分なりに工夫して勉強を始めました。

受験を終えてみて、ただやみくもに勉強するのではなく、効率が良く、自分に合った勉強法をなるべく早く見つけるのが大切だと感じました。また、僕は家で集中するのが苦手なタイプだったので、塾の自習室に行ったり、学校の空き時間を使ったりして勉強していました。自分が一番集中できる場所で継続して勉強するのが大切だと思います。

僕の受験科目は英語、国語、日本史だったので、とにかく暗記を中心に勉強して、11月くらいから問題演習と過去問演習の量を増やしました。赤本はただ解いて終わりではなく、大学ごとの傾向をおさえて自分がどこで点を落としたのか、何をすれば合格点数に届くのかを考えてやると、合格に大きく近づくと思います。早めに赤本を解いて、それからどんな風に勉強すればいいか計画すると良いです。受験勉強は辛かったけど、第一志望校に合格して、先生や親におめでとうと言ってもらった時に、最後までやりきって本当によかったと思いました。みなさんもこの1年間はとても大変な1年になると思います。それでも目標に向かって、最後まであきらめずに、全力を尽くしてがんばってください！

## [私立大学] 愛知大学・経済学部・経済学科

僕が皆さんに伝えたい事は、受験勉強は早い時期から始めれば始める程、後から楽になるし、その上、受験後半においての成長が周りよりも上がりやすいという事です。受験勉強を早くからやるメリットは、勉強をまだしていない皆と差をつける事が出来るし、勉強する際の集中力がついてくるし、基礎をちゃんと身に付ける事が出来る所です。

既に受験勉強をしている人はそんなに多くは居ないと思います。偉そうに言っている僕もあまりやっていませんでした。ですが、休み時間や家に帰ってからの30分くらいは英単語を頑張って覚えていました。そのおかげで大分、英語の勉強で単語に困る事は減りました。ですから、皆さんにも、少しずつでいいからコツコツと勉強する習慣を身に付けて行って欲しいです。

そんな事言ってもなかなか出来ないと思います。最初に始めるきっかけは何でも良いと思います。例えば、英単語の小テストの為に1日10個の単語を覚えるだとか、定期テストの成績を上げる為に、授業の復習をちゃんとする、だとか。結局は、皆さんが嫌がる定期テスト等の勉強は、受験勉強にもなるから、その場しのぎではなく、真剣に取り組むと、何回も言うように後が楽になります。僕の場合は、2年生の学年末テストでいつもより頑張っ、念願の順位一桁を取る事が出来て、モチベーションが上がったので、その勢いで志望校をもう少し難しい所にしようと思ったのがきっかけでした。その際に、どんな受験方式で受けるかも決めたので、より勉強がはかどりました。無理にとはいませんが、皆さんにも、自分の進路をある程度決めて、進学先について調べてみると意外にやる気が出たりするのでお勧めです。

そんなこんなで勉強を始めてみても、どんな計画で進めれば良いのか分からないと思います。各々のやり方があると思いますが、僕の場合、目の前にやりたい参考書を並べて、1ヶ月間でここまでやりたいという所を決めて、その為には1日何ページやれば良いのかが分かります。そうすると、目に見えて分かるので、時間の無駄も省けるし、なかなかサボりにくくなります。そのスケジュールを決める際、模試を目標に頑張るのもとても良いやり方ですが、模試で全然出来なくても落ち込む必要はありません。今までたくさん聞いた事があると思いますが、模試の後は復習が一番大事です。

ある程度勉強が進んだら、赤本や推薦等の過去問を解くと良いと思います。どんな問題が出るのか傾向が分かるし、大学入試の問題の量を知る事も大切な事です。推薦入試を考えている人も推薦入試の過去問はもちろん、受験方式は違えど、同じ大学が出す問題なので、赤本も解いてみると良いです。勉強も大事ですが、過去問を解くのも大事という事を覚えておいて下さい。

実際に始めてみると、次から次へとやるべき事が増えていきます。それでも焦らずちゃんと計画を立てて時間を有効に使ってコツコツ頑張ってください。やっている途中で疲れてきたら、休む時は休んでメリハリをつけて頑張ってください。どんな進路でも皆さんが納得するまでやり抜いてください！！！！

## **【国公立専門学校】愛知県立総合看護専門学校・第一看護**

みなさんは、進路・将来についてどれくらい考えていますか？私は3年生になっても受験について楽観的にしか考えていませんでした。そのため、志望校を真剣に考え始めたのは、3年生の夏頃と遅めのスタートでした。ですが、1年生の時から、ある程度の成績をキープすることは心掛けていました。成績によって、指定校推薦がもらえなかったり、評定が足りなくて一般推薦を受けられなくなったりするなど、後々影響が出てくる可能性があります。そのため、進路が決まっていな人ほど学校の成績には気を配ってください。志望校が決まったときに、受験方法の選択肢が増えると思います。

私が受験勉強を始めたのは、8月の中旬です。入試は小論文・国語・面接だけだったので、小論文を徹底的にやりました。添削を担当して頂いた先生に、「小論文は何回も書いて慣れることが大切」とアドバイスをもらったので、多いときには2日に1回のペースで書いていました。過去問だけでなく、新聞に毎日掲載されている社説を使って書いたりして、できるだけ多くのテーマで書きました。また、小論文を書くのには、それなりの文章力や語彙力が必要となります。そのため、今のうちから本や新聞を読んでもきれいな文章に触れておくことをお勧めします。私は語彙力がなかったため、新聞を読んで使える言葉を少しずつ増やしていきました。そうすることで、自分の伝えたいことを色々な表現で書けるようになったと思います。面接は何度も練習して”覚える”のではなく、練習する度に言葉をかえて質問の答えがセリフ化してしまわないようにしました。面接では、自分の言葉で素直に受け答えをできるようにしておいた方が良いです。

やった分だけ次の課題が見えます。また、頑張った分だけ先生方もサポートしてくれます。自分にあった勉強の仕方やペースを見つけたら、あまり辛くはないです。最後まで諦めないで、志望校に向かって頑張ってください。